

旭川未来会議 2030

観光分野テーマ

観光客の誘客に向けた 取組について

2022年11月1日
観光分野

観光分野が考える2030年の旭川のあるべき姿

世界中から訪れたくなる旭川

あるべき姿を考えた理由

- ・今よりもわくわくするような観光の取組が行われている旭川を目指していくため。
- ・観光客だけではなく、市民も、住んでいて楽しめる街が作られるため。
- ・旭川に関わる全ての者が連携し、あらゆる分野が一体となって観光振興を推進するため。
- ・新型コロナウイルス感染症が収束し、世界中でこれまで温められてきた観光熱が一気に爆発する時代になっていると想像できるため。

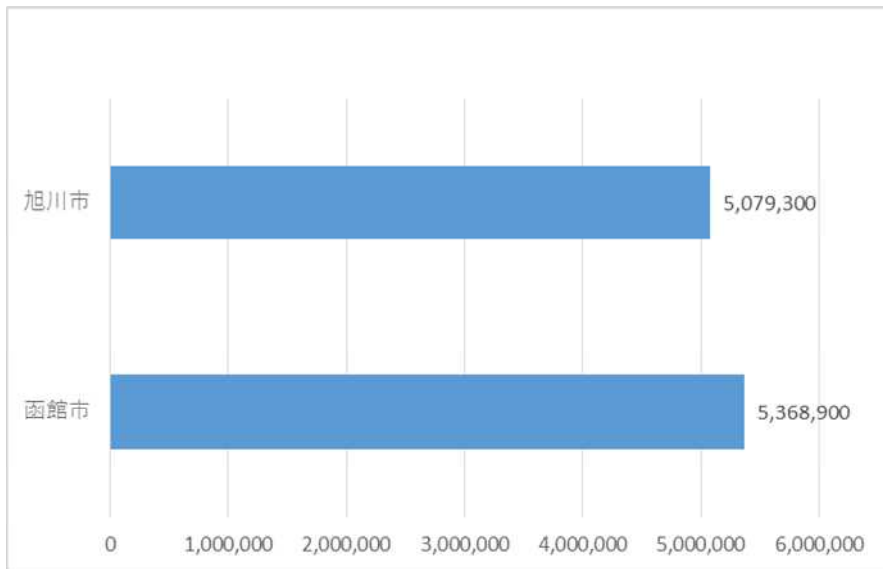
観光地としての旭川市の特徴

- ・ 大雪山国立公園の恵みを受けた自然環境を最大限に活かした産業
- ・ 中核市としての都市機能
- ・ 北海道の重要な交通結節点，旭川空港によるアクセスの利便性と高い就航率
→ 新鮮かつ豊富な食材など物流の集積地
- ・ 高い知名度を誇る旭山動物園
- ・ 世界最高水準の質を誇るパウダースノー

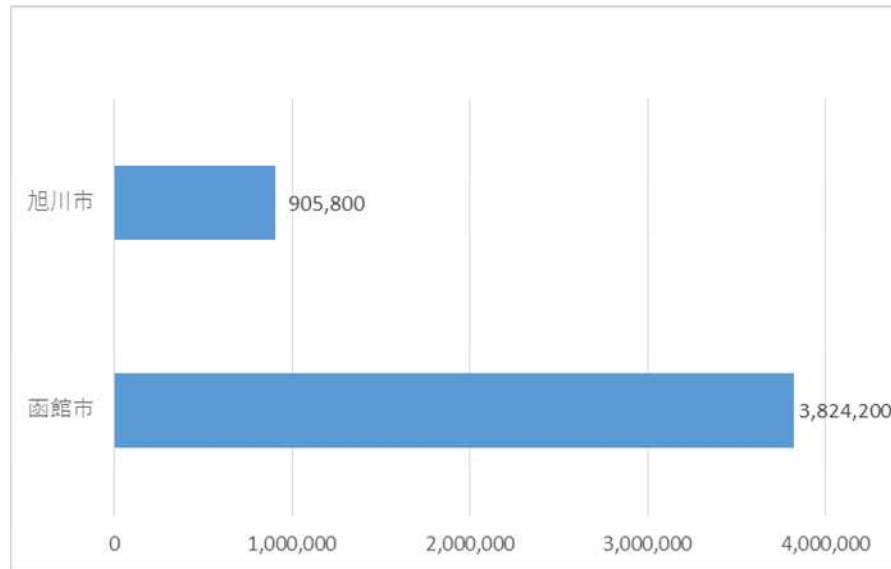
観光客にとっての魅力は山ほどある！

観光入込み客数と宿泊延べ数（令和元年度）

観光入込み客数



宿泊延べ数



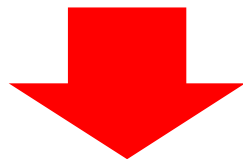
同じ北海道にあり中核市として都市規模も同等の函館市と比較した場合...



入込み客数が変わらないのに宿泊延べ数は函館市の1 / 3

旭川市季節別観光入込客数（令和元年度）の解決策

函館に比べて宿泊したメリットを活かせる観光コンテンツが少ない



旭川に泊まってもらう取組

（朝と夜を中心にした商品造成）

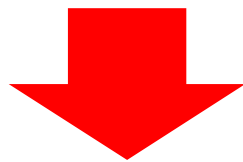
旭川市季節別観光入込客数（令和元年度）



繁忙期（夏季シーズン）と閑散期（冬季シーズン）の差が大きい！

旭川市季節別観光入込客数（令和元年度）の解決策

1 1月～4月（冬まつり期間を除く）の観光客が落ち込む



1 年中楽しめる観光地としての
観光コンテンツの開発

観光客の誘客に向けた取組の委員発言内容まとめ

観光客誘致

商品造成 イベント実施

- ・動物園における朝又は夜のイベント開催
- ・動物園内でのラーメン店などの出店
- ・動物園への新しい動物の飼育
- ・ペンギンと一緒に滑れるスケート場の設置
- ・動物園を活用したナイトサファリin旭川
- ・温泉ガストロノミーツーリズムの実施
- ・サステナブルツーリズムの実施
- ・リアルスポーツとeスポーツを活用した、スポーツツーリズムの実施
- ・道の駅プロジェクト（各イベントの実施）
- ・旭川の朝市を活用したせり体験商品造成
- ・スタルヒン球場でのフェスの開催
- ・旭川木材を使ったアスレチック広場の建設
- ・旭橋付近での人工スキー場の建設
- ・透明な橋（ガラスやアクリル板）の建設
- ・旭川駅裏にビーチの建設
- ・アミューズメント複合施設建設
- ・旭川空港から旭川駅までの川下り実施
- ・長期間にわたる食のイベント開催
- ・野外ライブができるライブ会場の建設

情報発信

- ・口コミを活用した情報発信
- ・メディアを上手く活用した情報発信
- ・旭川にゆかりあるものを活用したプロモーションやキャンペーンの実施（関係人口拡大）
- ・大雪山を活用したアクティビティの幅広い周知

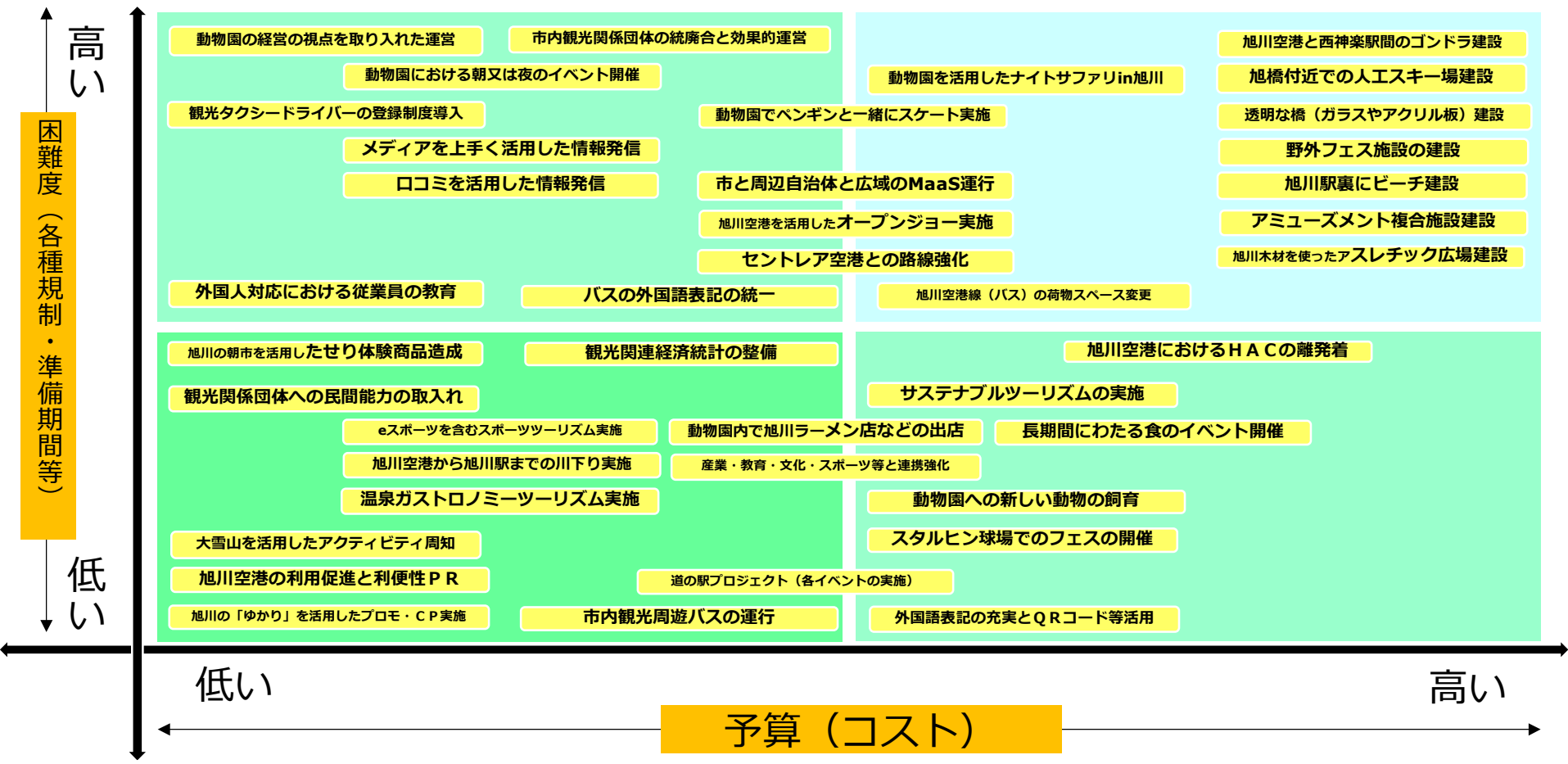
その他

- ・動物園の行動展示の他に、運営や経営の視点を取り入れた運営
- ・市内観光関係団体の統廃合と効果的・効率的運営
- ・観光関連経済統計の整備
- ・DMOなど観光関係団体への民間能力の取入れ

受入体制充実

- ・旭川空港の利用促進と利便性PR
- ・旭川空港におけるHACの離発着
- ・旭川空港とセントレア空港の路線強化
- ・旭川空港から西神楽駅の間をゴンドラ移動
- ・旭川空港を活用したオープンジョーの実
- ・バスの外国語表記の統一
- ・市内観光周遊バスの運行実施
- ・観光タクシードライバーの登録制
- ・外国語表記の充実とORコード等活用による観光ガイド
- ・旭川空港線（バス）の荷物スペースの変更
- ・産業、教育、文化、スポーツ（施設充実を含む）など各分野との連携強化
- ・外国人対応における従業員の教育
- ・市内及び周辺自治体と広域のMaaS運行

観光客の誘客に向けた取組を予算と困難度から表したマトリックス



意見（重点的な取組①）

意見等の内容	説明
道の駅や市場などを活用した朝活プロジェクト	朝の時間を含めて、道の駅や市場を活用したイベント、朝市、観光ツアーなどを開催する。



意見（重点的な取組②）

意見等の内容	説明
旭川駅南の観光地化	旭川駅の南側にビーチを建設し、スラックライン設置、川下り、雪遊び、雪合戦などを行う。



意見（重点的な取組③）

意見等の内容	説明
旭山動物園における体験型アクティビティの充実	ナイトサファリの開催やペンギンと一緒に滑ることができるスケートリンクの設置などを行う。



意見（検討すべき取組）

意見等の内容	説明
1 バスやタクシーの受入体制充実	バスの外国語表記の統一，タクシーやドライバーの事前登録・予約制度を導入する。
2 旭橋付近での人工スキー場建設	市内中心部にスキー場をオープンし，観光客が訪れ，気軽に体験しやすくする。
3 観光関係団体への民間活力導入	観光関係団体に民間人材登用などを積極的に進める。
4 大雪山を活用した取組	登山やスノーシュー等のアクティビティの充実と情報発信を強化する。
5 プロモーションの強化	旭川にゆかりのある企業や店舗を活用したプロモーション実施する。

意見（検討すべき取組）

意見等の内容	説明
6 コンシェルジュの育成	旅マエや旅ナカで観光案内をしてもらうことができる環境を整備する。
7 温泉ガストロノミーツーリズムの実施	1市8町圏域で食と温泉を用いた温泉ガストロノミーツーリズムを実施する。
8 広域でのM a a Sの運行	1市8町圏域で二次交通の充実に繋がるM a a Sの運行を行う。
9 情報発信の強化	口コミやメディアを上手に活用した情報発信する。
10 フェスの実施	スタルヒン球場などで野外フェスを実施する。

参加者からのその他の具体的意見

- サステナブルツーリズムの実施
- スポーツ（リアルとeスポーツ）の活用したスポーツツーリズムの実施
- 旭川木材を使用したアスレチック広場の建設
- アクリル板などによる透明な橋の建設
- アミューズメント複合施設の建設
- 旭川空港の利用促進・利便性PR強化，HACの発着誘致，セントレア空港との路線強化，西神楽駅と連結するゴンドラ建設，道内空港と連携したオープンジョー，空港線の路線バスの荷物置き場移設
- 市内観光周遊バスの運行
- 外国語表記の充実やQRコードの活用による観光ガイド
- 産業，教育，文化，スポーツなど各分野との連携強化
- 外国人対応における従業員の教育
- 市内観光関係団体の統廃合や効率化
- 観光関連経済統計の整備

意見総数：41件（集約前の総数）

観光分野参加者

氏名	所属
伊藤 公久	旭川ホテル旅館協同組合
井上 雅之	株式会社オーシャン
大野 由加利	旭川観光物産情報センター
柏葉 健一	旭川観光コンベンション協会
喜久野 夕介	旭川ふるさと旅行株式会社
菊原 洋樹	旭川シティホテル懇話会
椿谷 有海	公募
西野目 智弘	西野目産業株式会社
山崎 五良	男山株式会社
米谷 侑治	公募

(50音順・敬称略)

会議経過

日付	内容
7月 4日	第1回会議（観光客の誘客に向けた取組について意見交換）
8月18日	第2回会議（観光客の誘客に向けた取組についてまとめ）
10月14日	第3回会議（報告会向け資料作成）



2030年 誰もが訪れたくなる旭川へ...